

のアルバム

入園・入学おめでとう！

さくらばさまこども園で、平成30年度入園式が執り行われ、新しく31人の子どもたちが園の仲間となりました。

式では、先生から自分の名前を呼ばれると元気いっぱい「はい！」と返事をしていました。

また、進級児からのお祝いの歌や、先生による人形劇を楽しむなど笑顔あふれる入園式となりました。

市内各保育園、幼稚園、小・中学校でも、入園・入学式が執り行われ、多くの子どもたちが、新たな環境での第一歩を踏み出しました。

皆さんの健やかな成長を願っています。

▼4月6日 さくらばさまこども園



◀4月10日 篠原小学校

▼4月9日 八夫



100歳おめでとう

100歳の誕生日を迎えた森下^{やしゃご}まき子さん（高木）を山仲市長がお祝いに訪問しました。

大正7年4月1日生まれの^{やしゃご}まき子さんは、若い頃から手先が器用で和裁を楽しんでおられたそうです。また、高齢になるまで農業に汗を流されるなど元気いっぱいでした。

この日は、^{やしゃご}まき子を含む5世代のご家族と市長に祝福され「ありがとうございます。」と感謝されていました。

いつまでもお元気で。

子どもの食農教育のために

おうみ富士農業協同組合から食農教育補助教材『農業とわたしたちの暮らし』を寄贈いただきました。

これは、「JAバンク食農教育応援事業」の一環として、子どもたちの食・環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを目的に、全国の小学校に寄贈されているものです。

この教材には、小学校高学年を対象に農産物を始め、流通や食糧自給率など、農業に関する情報がわかりやすく説明されています。

市では5年生で行う田植えに向けての事前学習や、家庭科等の食育の授業など、さまざまな授業で活用させていただきます。



▼3月22日 市役所



歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

164

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

野洲出身の力士 蔵間とゆかりの化粧まわし —初土俵50周年記念!—

本年は、野洲市野洲出身の相撲の力士で、西の「関脇」まで昇進した蔵間龍也（1952～1995）が昭和43年（1968）の初土俵から50年という節目の年です。

蔵間は、中学・高校では、柔道やラグビーで鍛え、昭和43年（1968）に、時津風部屋に入門し、同年の大相撲秋場所（東京）で初土俵を踏みしました。

同50年（1975）の夏場所（東京）で十両（10段階の力士の階級の一つで、上から6番目）に昇進し（23歳）、同51年名古屋場所でも入幕しました（蔵間が十両から前頭に昇進）。「入幕」とは、十両の力士が「幕内」と呼ばれる力士、つまり「横綱」から「前頭」までの階級の力士になることです。

蔵間は、身長180センチ、体重130キロ（幕内当時）、左四ツ・寄り・上手投げなどの技を得意とする実力派で、幕内在位62場所、最高位は関脇（横綱・大関に次ぐ、上から3番目の階級）でした。

平成元年（1989）の秋場所（東京）を最後に引退し（37歳）、鍛山親方として後進の指導にあたりました。同2年（1990）に廃業し、タレントとして活躍していましたが、平成7年（1995）に42歳で亡くなりました。

本展では、蔵間ゆかりの化粧まわしを展示しています。この化粧まわしは、鯉の絵をあしらったもので、入幕を祝い、地元後援会から贈られたものです。初土俵から50年を直前に控えた昨年に当館に寄贈いただきました。野洲出身の偉人を知っていただくとともに、蔵間を応援した野洲の人々の思いも感じとってください。

（博物館学芸員
齊藤慶一）



蔵間の化粧まわし 部分
（当館蔵）

■特集陳列

「滋賀県野洲の相撲

—ふるさと野洲の力士 蔵間初土俵50周年記念!—」

開催中～5月27日(日)まで

休館日：月曜日、5月1日(火)

※市民は入館無料



市内各所で桜を満喫！

近江富士花緑公園で、「第二回桜まつり」が開催（4月6日～8日）されました。

同公園には、ソメイヨシノやシダレザクラなど約20種類、約300本の桜が植樹されており、当日は、市内外から約1,100人が訪れ、種類の異なる桜を観察したり、写真を撮ったりと、思い思いに桜見物を楽しみました。

また、毎年、市内各所で桜が美しい花を咲かせ、春の訪れを告げています。

▼4月6日 近江富士花緑公園



◀乙窪地先



▲中ノ池川富波乙地先